



くらしを パチリ ちょうさ ガイドブック

しゃしん つた あんしん
写真で伝えて、安心してもらおう

「くらしをパチリちょうさ」は、

じぶん い なに す
自分がどこに行き、何をするのが好きで、

ひと あ
どんな人によく会うのかを、

しゃしん つた ひと
写真をつかって伝えて、まわりの人たちに

わかってもらうためのものです。

こんなときに役立ちます

- ▶ いま 今、どんなくらしをしているかを
ひと 人にせつめいするとき
- ▶ じぶん 自分のくらしのことを、
せいりしてつたえるのがたいへんなとき
- ▶ はなし 話をしてみるけれど、うまく伝わらないとき
かんが せっしょうに考えてもらいたいけど、だれとやればいいのか
わからないとき

じゅんび

もちもの

おねがいカード



デジカメかスマホ



ちゅういてん
注意点

- ▶ ^{えすでいー}カメラにSDカードがはいっているか？
- ▶ カメラやスマホのメモリがいっぱいになっていないか？

やりかた

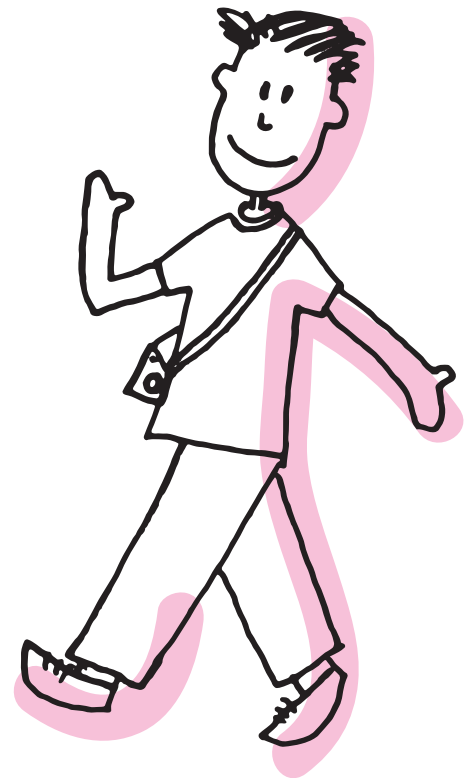
まいにち行くところ、

どきどき行くところ、

よくあう人、

好きなばしょ、

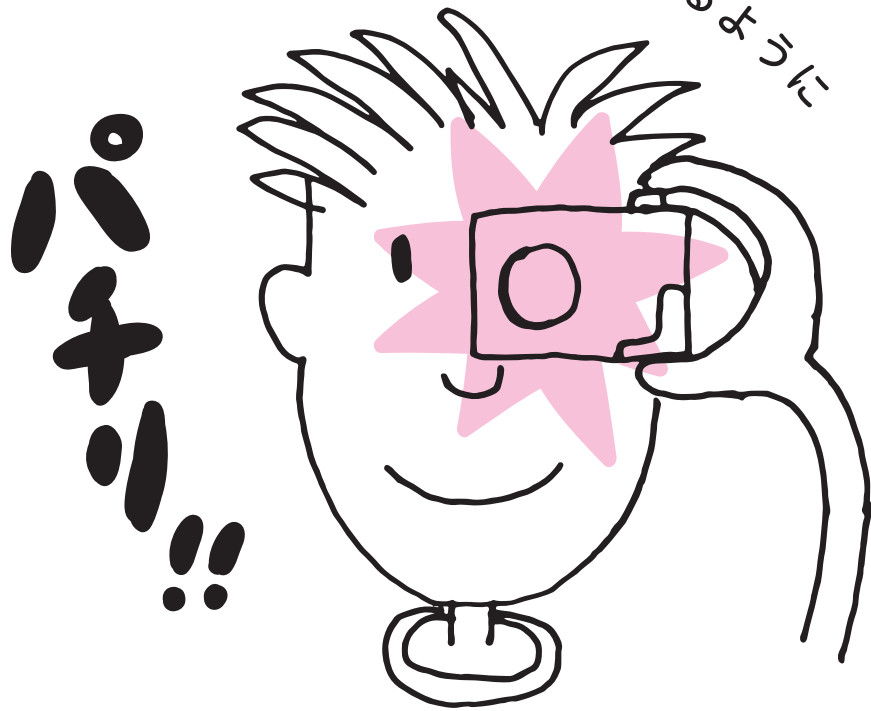
に行って…



しゃしん
写真を撮ろう

両手でカメラをしっかりとって

とりたいものが真ん中にくるように



たと
例えば・・・

しょくば
職場のなかま

きんじょのおばさん

やおやおじさん

となりのねこ

みせもの
すきなお店や物

すきなたべもの

きところ
なぜか気になる所

あるみち
よく歩く道など

すきなこと、
いつもすることだけでなく、
やってみたいこと、てつだってほしいこと、
いやだなとおもうことのしゃしんが
あってもいいですよ。

ルール

ひとつ、たいせつなルールがあります

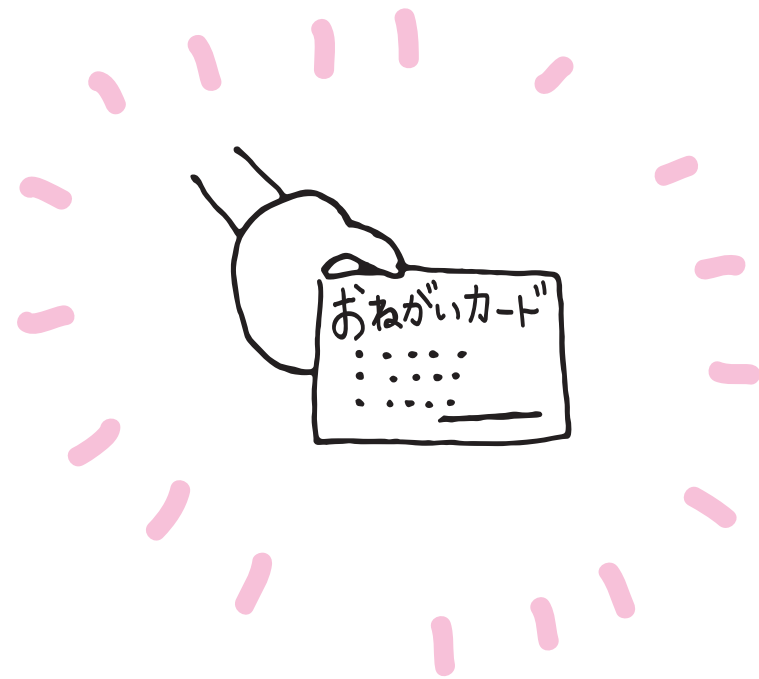
しゃしん せつめい
写真をとるまえに、説明をします。

せつめい
こうやって説明しよう

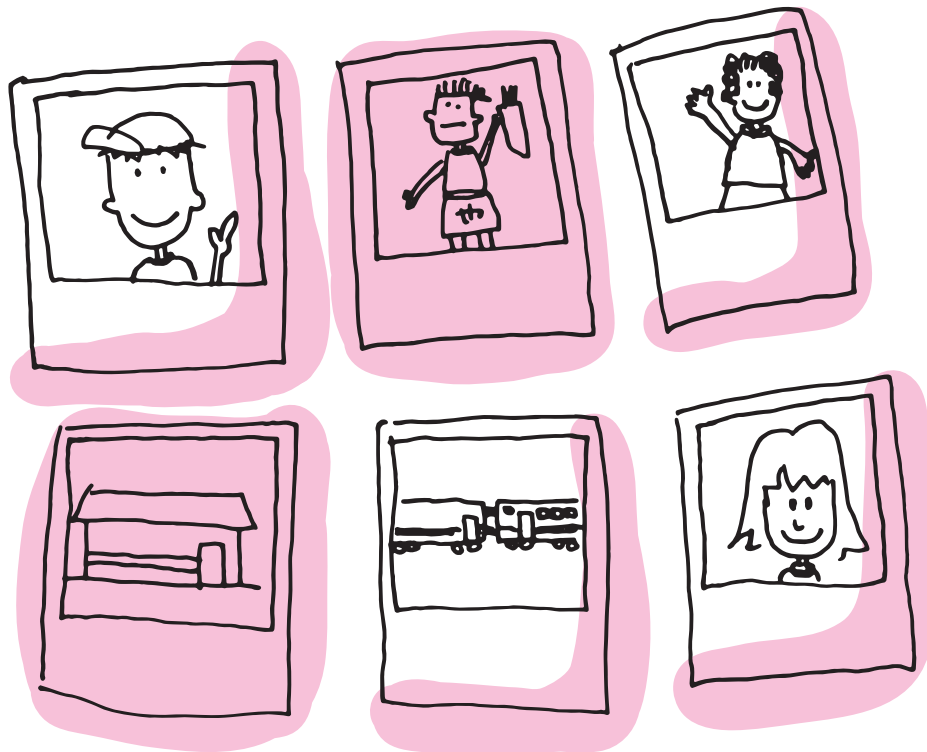
しゃしん
「写真をとってもいいですか？ わたしの
これからの暮らしを考えるのに使います。
いっしょに考えてくれる人には見てもら
いますが、他のことには使いません」



せつめい
うまく説明できないときは、
おねがいカードをわたします。



えらぶ



いっぱいとれたら、^{しゃしん}写真をえらびます。

(パソコンでえらんでしまうとかんたん)

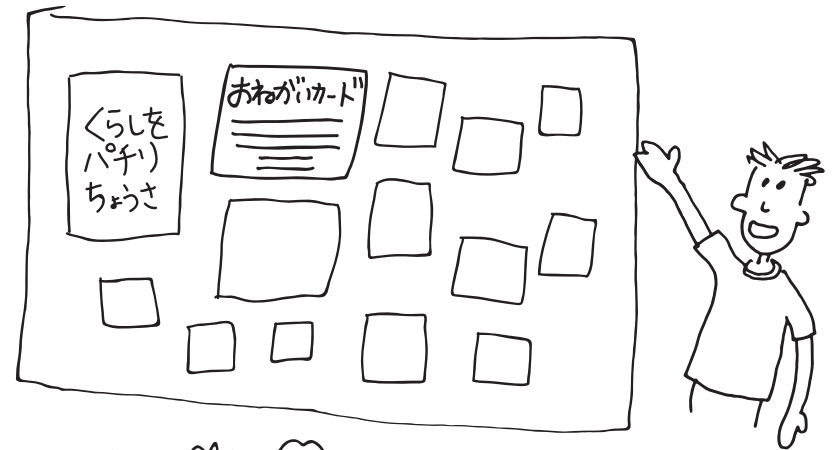
てっだってもらおう！

はっぴよう 発表

1 ^{しゃしん}写真をいんさつして、



2 みんなにみせて、



3 はっぴよう
発表します。

くらしをパチリ調査ガイドブック

発行者： 笠原千絵（上智大学総合人間科学部）
中西正繁（ケアの文化研究所）
森口弘美（天理大学人間学部）
浦野耕司（渋谷なかよしぐるーぷ）

連絡先： ケアの文化研究所
ホームページ <http://caringsociety.net/lab/>
メール carecarelab2018@gmail.com
上智大学総合人間科学部 笠原千絵研究室
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
電話 03-3238-4379 Fax 0466-77-0105

発行日： 発行日：2019年9月20日

編集： 鈴木一郎太（株式会社大と小とレフ）
デザイン： BOB.des' ウエダトモミ／溝田亜実

協力： 奈良市社会福祉協議会
社会福祉法人わたぼうしの会
渋谷区知的障害者幡ヶ谷教室 GAYA「ぐっとあっぶガヤ」

平成30年度 三菱財団社会福祉事業・研究助成事業
この冊子は、「本人リサーチャーと開発するくらし・たすけあいフォーマット：将来の暮らしに関するインクルーシブ調査」の成果報告のまとめとして作成しました。

ざ り と り

おねがいカード



「くらしをパチリちょうさ」にご協力ください

わたしは、自分の今のくらしとこれからのくらしを考えるために、ふだん、どこにいても、だれとあっているかを説明する写真の資料を作っています。まちのなかで、声をかけてくれる人や、助けてくれる場所があることは、地域のなかでくらすためにもとても大切です。

写した写真は、これからのくらしを考える話し合いのための資料として使います。それ以外のことには使いません。写真を写すことへのご理解とご協力をお願いします。何かわからないことや質問がありましたら、わたしをサポートしてくれている以下の連絡先にお問い合わせください。

私の名前

問い合わせ先

機関名



支援者

連絡先

